

原田病院外来診察担当表 (2023年4月1日～)

(2023年4月1日～)

●診察時間:午前9時～12時 午後4時～6時 ●受付時間:午前8時30分～12時 午後3時30分～6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

一般内科外来
 糖尿病外来
 泌尿器科外来
 整形外科外来
 慢性腎臓病(CKD)外来
 腹膜透析(PD)外来

				月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 外来		1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	荒川	重本	
		2診	土井俊樹	西澤	水入	水入	山下(秀)	山下(和)	
		3診	佐々木	大下	土井俊樹	長坂(初診)	大下	佐々木	
		4診 DM	田中	小林(貴)	田中	向井	向井	広大	
		5診	安達	—	—	小林(貴)	大久保	(第1・3・5週目)／(第2・4週目) 土井俊郎(整形)／岡野(整形)	
		6診 初診	長坂	森井	大久保	森本	弓場	小林(知)	
		7診	藤井(血液内科)	藤田	藤田	藤田	藤田	広大	
		8診	—	—	—	—	—	秋本	
午後 外来		1診	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 荒川	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 山田	15:00～16:00(PD) ／16:00～18:00 土井俊樹	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 山田	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 弓場	16:00～18:00 秋本	
		2診	14:30～16:30(不定期) 呼吸器 濱田	14:00～16:00/16:00～18:00 呼吸器/一般内科 宮本	15:30～16:00(予約)/16:00～18:00 森本	14:00～16:00 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	15:00～17:00 広大	
		3診	14:00～17:00 循環器 橋本		13:30～16:00(第1・3・5週) 血液内科 樗木	—	14:30～16:00 西澤	16:00～18:00 森井	
		4診	—	14:30～16:30(第2・4週) 循環器 中野(由)	—	14:00～17:00 循環器 橋本	—	—	
		5診	14:30～17:30 中島	—	—	15:00～17:30 吉岡	14:00～15:00 特定健診 長坂	—	
		7診	13:00～16:00 フットケア 大下	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 荒木	—	—	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 茂久田	—	
		8診	—	14:30～15:00/12:00～14:30 HHD 西澤 移植シント外来 札場	16:00～19:00 オーバーナイト 西澤	—	12:00～14:30 移植シント外来 札場	—	

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

原 田 病 院	院長 重本 憲一郎
---------	-----------

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一陽会クリニック 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

デ イ ケ ア あ さ ひ 所長 寺沢 由香

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600

イーストクリニック 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横 川 ク リ ニ ッ ク	院長 内藤 隆之
---------------	----------

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

グ ラ ン ホ ー ム あ さ ひ 施設長 三上 夕子

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600

クローバー訪問看護ステーション	所長 木村 美智代
-----------------	-----------

クローバー居宅介護支援事業所 所長 平田 恵美

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内)
TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(居宅介護)
FAX 082-925-6223(共通)

ケアレジデンス 楽々園 施設長 小嶋 加代子

デイサービス 楽々園
 クローバーヘルプステーション

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス楽々園)
082-943-8585 (デイサービス楽々園)
082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周边地图



あとがき

長く続いた新型コロナ第8波もやっと落ちつき、街中や公園では朝早くから散歩する人を多く見かけるようになりました。◆散歩は身体に無理な負担をかけずにできる有酸素運動です。脂肪燃焼効率や基礎代謝向上、血中脂質や血糖値・血圧の改善も期待でき、歩くことで全身の血行が良くなるので、冷え性やむくみの改善、認知症予防なども期待できます。広辞苑には「散歩とは気晴らしや健康などのためにぶらぶら歩くこと」とあり、心と身体両方の健康をサポートしてくれます。◆朝日の中を散歩すると幸せホルモンともいわれる神経伝達物質セロトニンの分泌を促してくれます。セロトニンには緊張や不安をもたらす神経伝達物質ノルアドレナリンや喜びや快楽をもたらす神経伝達物質ドーパミンなどを制御し精神状態を安定させる働きがあります。長期継続けるとセロトニン神経が鍛えられるとも言われており、無理なく継続することが大切です。◆5月からは新型コロナも5類に分類され行動制限も徐々に解除される予定ですがコロナウィルスはなくなるわけではありません。心と身体の健康のために感染には十分ご注意のうえ散歩していただきたいと思います。

一陽会広報誌

一陽会広報誌

令和5年

vol.74



題名「里山の春」

撮影：一陽会クリニック 北森 初男

Contents

1. 腎臓リハビリテーション:イーストクリニック
2. **Topics** 「みんなで話そう:看護の出前授業」
3. **Series** 近隣医療機関のご紹介:
みんなの泌尿器科クリニック
4. 体験・短期入居 実施中:サービス付き
高齢者向け住宅「ケアレジデンス楽々園」
5. サテライトクリニックご紹介:一陽会クリニック
6. **Series** 「認定看護師のお仕事」について
7. **Column** いきいきさん!
8. **Series** 健康レシピ さつまいものレモン煮

一陽会 基本理念

愛 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献します。

和 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努めます。

誠 まごころ
誠心と創意工夫を以ってその職責を全うします。

一陽会では、「愛・和・誠」を是訓と定め、その理念に基づいた組織づくりを行っています。

腎臓リハビリテーション：イーストクリニック

腎臓リハビリテーションの目的は症状の緩和、体力・健康の維持増進、精神的負担の軽減、生活の質改善などで、運動療法、教育、食事療法、薬物療法、精神的ケアなどを内容とした包括的なアプローチです。2017年から医師、看護師、臨床工学技士による運動療法チームを立ち上げ、透析患者さんへの運動療法として、透析中にバランスボール(図1)、セラバンドを使用したレジスタンス運動(図2)、2019年にはエルゴメーター(図3)を2台購入し、透析前もしくは透析後に5～30分間の有酸素運動を開始しました。



図2.セラバンド

2021年からは理学療法士が参加し、2カ月に1回の個別の運動指導と半年に1回の身体機能評価を実施しています。2022年に看護師8名が腎臓リハビリテーションガイドライン講習会を受講・合格し専門的知識を習得しました。スタッフ一丸となって透析中の運動療法を実施すると同時に運動機能低下の予防に努めています。現在、透析前に5名(内2名は透析中も運動実施)、透析中に11名の計16名の患者さんが運動療法を行っています。体外循環中に行うため、バイタルサインに留意しながら安全かつ効率の良いプログラム(各自オーダーメイド)を運動リスト(表1)から作成し指導しています。



図3.エルゴメーター

患者さんからは、「筋力が落ちてきたから勧められてよかった」「身体のバランスが良くなった」「始めた時はしんどかったけど慣れると出来るようになった」などのお声があがっています。これからも多職種連携し透析患者さんのQOLの向上に取り組んでいきたいと思ひます。

イーストクリニック 透析室技士長 小野 亮一



図1.バランスボール

表1《運動リスト》

レジスタンストレーニング	
セラバンド使用	キッキング
	膝伸ばし(膝伸展運動)
	脚広げ(股関節外転運動)
重り使用	足踏み(股関節屈曲運動)
	膝伸ばし(膝伸展運動)
	足上げ
自重運動	膝伸ばし
	両足キッキング(交互)
	両足キッキング(同時)
	ストレッチ
ふくらはぎ	
腰部	
骨盤後傾運動	
有酸素運動	
エルゴメーター	

Topics

「みんなで話そう：看護の出前授業」 場所：広島市立美鈴が丘中学校

2022年11月17日、原田病院の糖尿病看護認定看護師・庄子千鶴満が広島市立美鈴が丘中学校全生徒(239名)を対象に「みんなで話そうー看護の出前事業」の講師を務めました。

この講演会は広島県看護協会が主催する地域貢献事業の一環で、会員が学校に出向き、専門的な知識を生徒に直接語る「出前授業」です。「未来の自分のための今できる生活習慣～糖尿病患者さんを支える立場からのお話～」というテーマで講演を行い、時には学校の先生を患者役に据えて患者指導のデモを行うなど、生徒さん達も大変興味深そうに聴講されていました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



糖尿病看護
認定看護師
庄子 千鶴満

Series

近隣医療機関のご紹介

みんなの泌尿器科クリニック (西区井口)

「お子様からご年配の方まで“みんなの”クリニックになれるよう尽力いたします。」
今回は西区井口の「みんなの泌尿器科クリニック」のご紹介です。

当院は令和4年4月に西区井口4丁目の井口サンフラワービル3階で開院をいたしました泌尿器科専門クリニックです。排尿障害、尿路結石症、尿路感染・性感染症、泌尿器科系がんなどの泌尿器科一般診療と、前立腺肥大症や尿失禁などの日帰り手術にも取り組んでおります。



原田病院には幅広い専門科がありますが、泌尿器科、腎臓内科をはじめ当院単独で対応が難しい疾患の患者様のご相談をさせて頂いております。また、日頃より放射線科では悪性腫瘍検索をはじめとしたMRI・CTの撮影と読影を迅速に行っており、

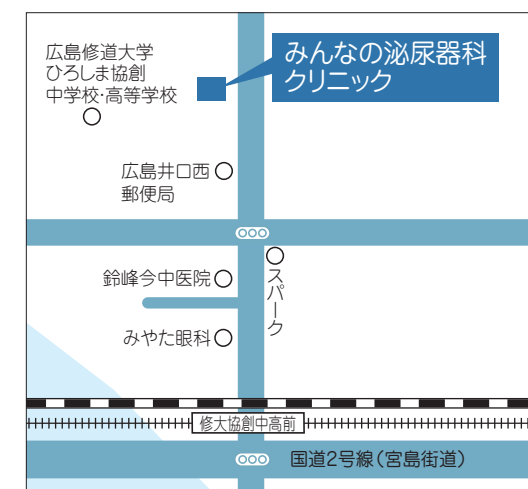
当院にとって非常に力強い診療のサポートとなっております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



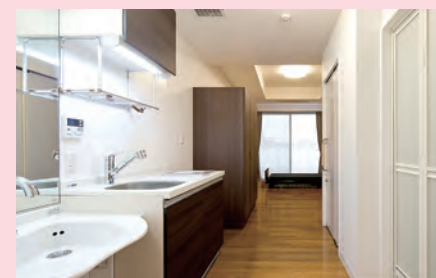
この春で当院が開院して1年を迎えますが徐々に認知を頂きつつあり、お子様を含めた幅広い年代の患者様に受診を頂いております。今後もこの広島西部地区の皆さまのお役に立てるよう尽力をして参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

みんなの泌尿器科クリニック 院長 藤井 慎介

- 所在地 〒733-0842 広島市西区井口4丁目7番18-7 井口サンフラワービル3F
TEL:082-270-2525 FAX:082-270-2526
- 診療科目 泌尿器科
- 診療時間 午前 9:00～13:00
午後 15:00～18:00(水曜日・土曜日は休診)
- 休診日 日曜日、祝日
- 駐車場 約50台



体験・短期入居 実施中:サービス付き高齢者向け住宅「ケアレジデンス楽々園」



ケアレジデンス楽々園では昨年12月から体験・短期入居を実施しています。体験入居は最長2泊3日で、サービス付き高齢者向け住宅とはどんなものかを入居前に体験していただき施設選択の参考にさせていただきたいと思ひます。また短期入居は最長1か月の入居期間となります。ご家族さまの急な体調不良や旅行等で介護が一時的に難しい時にお手伝いさせていただきます。ショートステイ感覚でご利用いただければと思ひます。詳しい内容はお電話でご確認ください。

ケアレジデンス楽々園では昨年12月から体験・短期入居を実施しています。

体験入居は最長2泊3日で、サービス付き高齢者向け住宅とはどんなものかを入居前に体験していただき施設選択の参考にさせていただきたいと思ひます。

また短期入居は最長1か月の入居期間となります。ご家族さまの急な体調不良

[サービス付き高齢者向け住宅] ケアレジデンス楽々園

〒738-5136
広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
☎ 082-943-8686



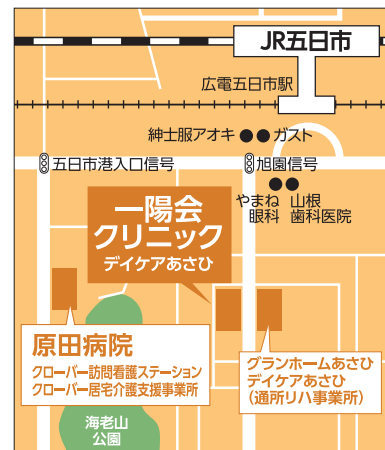
サテライトクリニックご紹介： 一陽会クリニック

一陽会では原田病院のほかに3施設のサテライトクリニックがあり、それぞれに特徴を持った医療を行っています。今回は佐伯区旭園にありまず一陽会クリニックをご紹介します。

一陽会クリニックは1996年3月1日に原田病院の初めてのサテライト施設として開院しました。JR五日市駅、広島電鉄五日市駅より徒歩5分の場所にあり、外来透析治療を中心に、グランホームあさひ（介護付有料老人ホーム）からの通院透析など、透析患者さんの健康状態に応じた透析治療の場をご提供しています。医療面では、法人の基幹病院である原田病院が徒歩5分の場所にあり、透析

患者さんに入院や診療が必要となった際には迅速なバックアップが受けられる体制を整えています。介護面ではグランホームあさひにデイケアあさひが併設され、専門の理学療法士が残存機能を引き出し、ご希望により入浴やレクリエーションを行い、ご家族の介護支援を行なっています。

当院では、碓井院長の「それぞれの透析患者さんに適した透析治療を提供する」という方針のもとに、一陽会クリニック職員は患者さんの話に耳を傾け、生活リズムを把握し、身体に負担のない透析治療を提供することを心がけています。



◆一陽会クリニックの特徴的な取り組み

①患者さんが生き活きと、自分らしい生活をおくるために、生活スタイルや病状に応じて選べる透析環境をご用意しています。透析治療は週3回、1回あたり4～5時間を基本としつつ、患者さんの状態に応じて週4回透析（注：生命予後が良いとされる頻回透析が可能）の実施や、オンラインHDF治療（注：合併症対策として、高水準の清浄化透析液を安定して提供することにより全ての透析監視装置でオンラインHDFを可能としています）や特定積層型人工腎臓を使用し、少しでも全身状態の良い状態で元気に暮らしていただけるよう、柔軟に対応しています。



透析液調剤室

②4つの透析クールから曜日、時間を選べます。ベッドに限りがありますので、すぐにはご希望にそえない場合もありますのでご了承ください。

《透析時間の目安》

曜日	時間区分	時間
月・水・金曜日	午前	9時～14時30分
	夜間	16時～22時30分
火・木・土曜日	午前	9時～14時30分
	午後	15時～19時45分

③患者さんに快適な透析生活をおくっていただくための工夫を凝らした、ワンフロアで81床のベッドを持つ、県内屈指の広々とした「第一透析室」。オープンな空間なので、透析中の患者さんの安全を見守ることが出来ます。さらにゆったりとした14床の第二透析室を増設し、車いすの方もますます利用しやすくなりました。



透析室1

④電子カルテや透析支援システム「Future Net Web+」を導入し、安心・安全な透析治療の環境を整えています。透析支援システムと透析監視装置を連携させ、透析準備から終了までの自動化を進めています。さらには治療情報や血液検査の結果、薬の投与記録などの一括管理が可能。透析療法の安全性向上はもちろん、スタッフ



可動式高性能空気清浄機

が患者さんと接する時間をより多く取れるようになり、信頼関係の構築にも繋がっています。



透析室2

⑤新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として、可動式高性能空気清浄機を設置、ゾーニングによる空間的隔離、時間的隔離を実施できるように工夫しております。



透析支援システム

⑥在宅血液透析（HHD）に対応しております。

在宅血液透析とは、自宅に透析機器を設置し、介助者（家族など）の協力を得ながら自分で血液透析を行う方法です。生命予後が良いとされる頻回透析または長時間透析を、ご自分の生活リズムにあわせて行うことができます。当院では、スムーズな導入・自己管理が行えるよう、専門スタッフが支援しております。

在宅血液透析（HHD）を始めた患者さんからは「家族と会話する時間が増えました。子供が年末年始に帰省した際も自分は透析治療にいかないといけませんでしたが、今は家族と一緒に自宅で過ごすことができます。在宅血液透析を実施して本当に良かったです。」とコメントを頂いています。

《在宅血液透析（HHD）導入までの流れ》



患者さんの生活スタイルや健康状態など、どのような状況にもしっかり対応できるよう、さまざまな透析方法をご用意し、患者さんの健康管理だけでなく、ご家族の介護負担を軽減し、家族みんなが安心の透析治療をご提供します。

今後もスタッフ一同、常に最新の専門知識や技術の習得をめざし、患者さん、ご家族を全力でサポートしてまいります。

一陽会クリニック 透析室技士長 稲本 健司

「認定看護師のお仕事」について vol.2

一陽会では4分野5名の認定看護師が活躍しています。
今回は「^{せつしょく えんげ}摂食・嚥下障害看護認定看護師」として病棟に勤務している百田真志帆さんにお話を伺いました。

●^{せつしょく えんげ}摂食・嚥下障害看護認定看護師とは

元気な時には当たり前のように食べることができていたのに、人は病気や老いとともに、食べることが困難になり「食べること＝生きること」に向き合わなくてはなりません。

わたしの資格は、摂食・嚥下機能の評価を行い、安全に食べるため、そして食べ続けるために、食べやすい食事形態の検討や、口腔ケア・嚥下訓練・姿勢・食事介助に関わり、誤嚥性肺炎や窒息予防、栄養低下や脱水の予防を行います。

臨床現場での経験や推論力と、専門的な学びで得た技術・知識をもとに、看護の実践・相談・指導の役割を担っています。

●実践・相談・指導

実践：病棟では看護スタッフとして働きながら、毎週木曜日に行っている「NST：栄養サポートチーム」の一員として活動し、さまざまな職種のスタッフと話し合いやラウンドを行いながら、入院患者さんの栄養を支えています。認定活動日には、より時間をかけて1人1人に向き合い、個々に応じた食支援を行っています。紙の上とは違う現実、無力さを感じるときもありますが、人の笑顔や退院していく姿に元気をもらっています。

相談：認知症で食べる認識ができなくなる、脳梗塞等で飲み込む神経や四肢運動の障害が起きる、誤嚥性肺炎を繰り返してしまうなど、食べることが難しくなる場合や、内臓疾患を抱え食欲がわからず、食べること自体が苦しく辛いことも少なくありません。摂食・嚥下障害についての相談には食事介助や姿勢、口腔ケアや嚥下評価を通して、スタッフや患者家族と一緒に考えながら、その人その人の最善を目指します。

指導：毎年行っている新人職員への勉強会や院内の講師は5年目をむかえます。どうやったら伝わるかだけでなく、理解して実践ができる様、自身の知識や技術もアップデートしています。



摂食嚥下障害看護認定看護師
百田 真志帆



ワンポイントアドバイス “ストップ！誤嚥性肺炎”

飲食物や唾液、本来なら「ごくん」と飲み込んで食道から胃へと送られるはずが、誤って気道の一部である気管に入ってしまうことがあります。これが「誤嚥(ごえん)」です。飲み込む筋力も手足の筋力と同じ、加齢とともに機能は衰えてきます。

1. **肺炎球菌ワクチンは有効！**：誤嚥性肺炎でも肺炎球菌は主な起因菌の一つであることがわかっています。(肺炎球菌ワクチン接種は当院でも対応しております)
2. **寝るときは頭を少しあげよう！**：下あごを引くと、唾液が気管に入り込むのを予防します
3. **歯磨きをしよう！**：口腔内を清潔に。細菌の繁殖を抑え、ウイルスをよせつけない！
4. **筋力を維持しよう！**：声を出して、しっかり嚥んで。強い咳で、誤嚥物をおいだそう

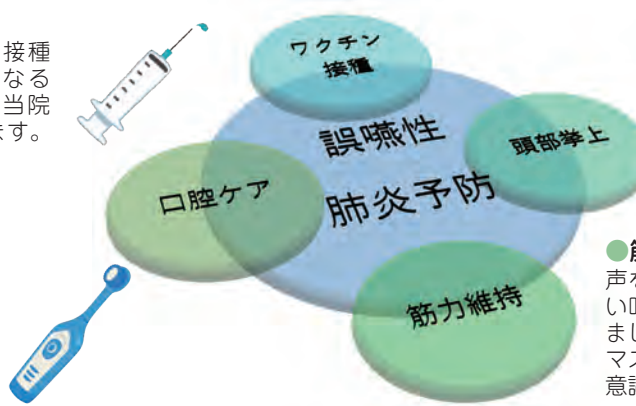
食は「人」を「良」くする、飲は「食」に「欠」かせません。
今日も元気に食べましょう＝生きましょう！！

●ワクチン接種

肺炎球菌ワクチンの接種は誤嚥性肺炎予防になると言われています。当院でも接種を行っています。

●口腔ケア

歯磨きや義歯洗浄、ぶくぶくうがいなどで口腔内を清潔に保ちましょう。電動歯ブラシや歯間ブラシなど上手に利用しましょう。



●頭部挙上

就寝時も頭を挙上することで(10～30度程度)唾液の誤嚥を予防します。食事を介助するときは、頭がそらないようにしましょう。



●筋力維持

声を出して、しっかり嚥んで強い咳を出して誤嚥物を追い出しましょう。マスク生活が長くなっています。意識して口を動かしましょう。



いきいきさん

事務部 医事課 三上 聡美



コミュニケーションの重要性を再認識しています。



原田病院の医事課に勤務し15年目となりました。入職後には受付・会計業務、病棟クラークを経験し、現在はレセプトや診察補助の業務に携わっております。どの業務においても、コミュニケーションの重要性を再認識しています。医療事務は電話も含め、患者さんと直接コミュニケーション

をとりながら対応することが頻回であるため、常に分かりやすく伝えることを意識して接することを心掛けています。また、他職種との連携も多いため、しっかりとコミュニケーションをとることで、情報の共有化を図り、患者さんにとって効率のよい医療サービスを提供させていただきたいと思います。今後もチーム医療の一員として、患者さんと医師やコメディカルスタッフをつなぐ橋渡し役となれるよう、日々精進して参ります。

健康レシピ

さつまいものレモン煮



エネルギー：85Kcal／
たんぱく質：0.5g／脂質：0.3g／塩分：0.1g

《材料(4人分)》

さつまいも 200g(中1本)
レモン 40g(1/4個)
砂糖 10g

《作り方》

- ①さつまいもはよく洗い皮付きのまま輪切りにし、水にサッとさらす。
- ②レモンは皮をよく洗い、厚さ3mmのいちょう切りにする。
- ③鍋にさつまいもを入れ、さつまいもがかぶるくらいの水を入れ、レモンと砂糖を加え弱火にかける。さつまいもがやわらかくなったら火を止める。

※レモンや砂糖の量はお好みに合わせて調節してください。
管理栄養士 長畑 奈緒美